

2016年10月

2016年8月

推進工法用設計積算要領
「鋼製さや管推進工法編 2016年改訂版」
掲載内容の訂正とお詫び

公益社団法人 日本推進技術協会

謹啓 時下ますます御清勝のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の刊行物をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、誠に遺憾ながら、2016年5月発刊いたしました推進工法用設計積算要領「鋼製さや管推進工法編 2016年改訂版」の記載内容に一部誤りがありました。

今回、下記の通り正誤表を作成いたしましたので、お手数ですが訂正くださいますようお願い申し上げます。

ご利用されます方に、大変ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

謹白

2016年改訂版 正誤表

頁	行目・図表	誤	正
111	表 4-13	1.6	※1 4.4
188	E-67-1	※2 溶接工 削除	
189	D-67-2		※3 特殊作業員 追記
32	表 1-20		※4

表 4-13 坑口工歩掛 ※1

(1箇所当り)

種 目	単位	鋼 管 呼 び 径										
		200	250	300	350	400	450	500	600	700	800	
普 通 作 業 員	人	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.6	1.7	1.9	2.1	2.5	
止 水 器	組	1										
鋼 材 溶 接 工	m	1.2	1.6	2.0	2.4	2.6	2.8	3.1	3.5	4.0	4.4	
鋼 材 切 断 工	m	4.1	1.6	4.7	5.0	5.3	5.6	6.2	7.0	7.8	8.8	
クレーン装置付 トラック運転費	日	0.2										

E-67-1 ユニット式泥水処理装置据付撤去工 ※2

(1基当り)

種 目	形状寸法	単位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
世 話 役		人				表 6-28
溶 接 工		人				表 6-28
特 殊 作 業 員		人				表 6-28
普 通 作 業 員		人				表 6-28
電 工		人				表 6-28
ラフテレーンクレーン 賃 料	油圧伸縮 ジブ型 4.9 t 吊	日				表 6-28
計						

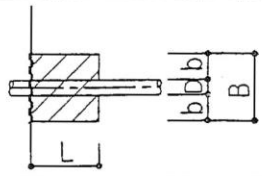
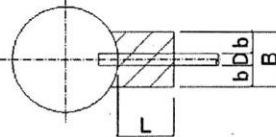
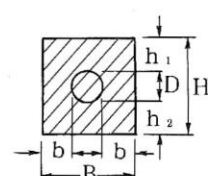
D-67-2 処理設備付帯作業工 ※3

(一式)

種 目	形状寸法	単位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
世 話 役		人				表 6-29
電 工						表 6-29
配 管 工		人				表 6-29
溶 接 工						表 6-29
特 殊 作 業 員		人				表 6-29
普 通 作 業 員		人				表 6-29
ラフテレーンクレーン 賃 料	油圧伸縮 ジブ型 4.9 t 吊	日				表 6-29
諸 雑 費		式	1			
計						

表 1-20 最小改良範囲

※4

	発進部	到達部	図および記号
改良平面	D : 推進工法用管外径 B : $D + 2b$ b : 1.0 mを最小とする L : ※ ₁	L : ※ ₂	ライナープレート・鋼矢板立坑 
	上記記載と同じ	上記記載と同じ	ケーシング立坑 
改良断面	D : 推進工法用管外径 B : $D + 2b$ H : $D + h_1 + h_2$ b : 1.0mを最小とする h ₁ : 1.5mを最小とする h ₂ : 1.0mを最小とする	発進部と同様とする	

※₁ L : 発進部・・・先導体機長+推進工法管1本

(全断面解放された切羽の自立確保と発進立坑の保護、先導体の調整・姿勢制御などのための最小範囲である。)

※₂ L : 到達部・・・先導体機長

(到達に際し、先導体周囲の地山は乱れた状態になっているので、先導体の安定と止水目的のために地山を補強する。)

※₃ ケーシング施工時、ケーシング周りは圧入時に周辺が緩んでいるため、完了時に周辺へ地盤改良等別途検討が必要である。